

平成 23 年度 事業計画書

1. 事業方針

岩室健康増進センターは市民に保健及び保養並びに交流の場を提供することにより、余暇活動、健康の増進及び福祉の向上を通じ地域社会の健全な発展に寄与し、更に地域社会の活性化に貢献することを目的とします。

さらに「おもてなしの心」で入館者、施設利用者を迎え、癒しの場を提供しつつ、利用者が快適に過ごせるような施設運営をめざします。

管理運営に関しては、利用者の安全・安心を第一とし、日頃から防災、衛生対策に努めながら、地域住民や利用者の意見・要望を反映させ、より効率的な管理運営を行うことを事業方針とします。

2. 具体的取り組み（事業計画）

地域の自治会、老人会、コミュニティー協議会、子供会等との組織と連携を密にして地域活動に積極的に参加し、施設PRを強化し利用者の増加を図ります。

平成 21 年度実績として、老人と子供の利用が 20,731 人、平成 22 年度が 19,790 人で年々減少傾向になっております。

これらの組織の事業に積極的に参加し地域の活動を通して、施設PRを積極的に行い利用客増加に努めます。又、自治会の総会、老人会の敬老会、子供会の各種会合の活動拠点として、安価な費用と使い勝手が良く、清潔な施設で一層交流が深められるよう送迎バスの運行にも便利を図る予定です。

経常経費の削減に努め、バランスの取れた運営を目指します。

震災の影響を受け、当館も節電に努めます。利用者に十分な理解と協力を求めたうえで、室内の温度調整等に配慮し、前年の電気料の 15%削減を目指します。他にも創意と工夫をしながら、経常経費の削減に努め、バランスの取れた運営を行います。

地産地消を目標とし、「新潟市地産地消の店」に認定された実績を基に尚一層自主事業（飲食部門）の質を向上します。また季節ごとのイベントなども適時開催します。

岩室温泉の高台に位置し、絶好のロケーションを誇り、春夏秋冬すばらしい自然に囲まれている環境を生かしながら、地元間瀬漁港の鮮魚を使った海鮮料理と地元産の野菜・コシヒカリなど生産者から購入した素材での新メニューの開発にも励み、地元の冠婚葬祭時に利用される施設をめざします。又、好評を得ている季節ごとのイベント（桜と春の地魚を楽しむ会、米沢牛と真鯛を食べ猛暑に勝つ会）を行います。

快適かつ安全に過ごして貰う為、館内清掃・消毒と防災対策を徹底し、安全衛生を進めます。

入館者、施設利用者、職員等の安全、安心を第一とした管理を行い、日頃より、衛生対策、防火・自然災害対策に努めます。衛生対策については、特に食中毒・レジオネラ菌に充分気をつけ、マニュアルに沿った清掃・衛生管理に努めます。また防火・自然災害対策については、緊急時対応の「防災危機管理マニュアル」にのっとり、十分な訓練を行います。さらに、今期より「安全委員会」を作り、事故対応時の対策の検討を行います。

接客トラブル等に速やかに対処するべく、社内研修を実施します。

利用者の満足度を上げるために、職員研修による接客マナーの向上に努め、あらかじめ苦情、要望の多いと思われる業務は事前に改善に努めます。さらに、今期より「サービス向上委員会」を立ち上げ、定期的に社内の打合せ会議を開催し、サービスの向上につとめます。

利用者アンケート箱を風呂場、食堂、宴会場等各場所に設置するだけでなく、インターネット等を通じ、新潟市、新潟県内外の利用者からの意見、要望、苦情を積極的に収集し、7日以内に所定の手続きを踏んで本人に回答し、さらに施設内掲示、ホームページにて公開、関係監督官庁に報告を行います。

3. 集客目標

(入館者数)

| | |
|------|---|
| 23年度 | 45,000人(大人・16,000人、老人・子供・障がい者等・29,000人) |
| 24年度 | 47,000人(大人・17,000人、老人・子供・障がい者等・30,000人) |
| 25年度 | 49,000人(大人・18,000人、老人・子供・障がい者等・31,000人) |
| 26年度 | 51,000人(大人・19,000人、老人・子供・障がい者等・32,000人) |
| 27年度 | 53,000人(大人・20,000人、老人・子供・障がい者等・33,000人) |

(部屋使用回数)

| | | | |
|------|----------|---------------|-------|
| 23年度 | 小部屋・200回 | 大広間及び中広間・100回 | 計300回 |
| 24年度 | 小部屋・210回 | 大広間及び中広間・120回 | 計330回 |
| 25年度 | 小部屋・220回 | 大広間及び中広間・140回 | 計360回 |
| 26年度 | 小部屋・230回 | 大広間及び中広間・160回 | 計390回 |
| 27年度 | 小部屋・240回 | 大広間及び中広間・180回 | 計420回 |

4. 集客対策

春夏秋冬季節に合ったイベントを実施します。

春の季節は観桜会の開催、桜のライトアップ、地物桜マス・渡り蟹を堪能する会。

夏の季節は冬妻ホタルの観賞会の開催。地物真鯛を食べ夏に勝会。

秋の季節は紅葉を楽しむ会の開催。地物ノドグロにコシヒカリ、キノコを楽しむ会。

冬の季節は雪見の会を開催。地物アンコウ鍋、地物タラ鍋を囲む会。

その他、天神山ツアーや、花の育て方講習会・鑑賞会を当館が主体となって企画・運営し、集客拡大を果たします。

にいがたっすこやかパスポート登録店、新潟市地産地消推進の店、などの認証店であることを（市のホームページに掲載されている）随時PRして行きます。

健康増進の為、健康福祉課とタイアップしながら、健康教室、栄養教室など開催する。

岩室観光協会の観光ホームページに掲載している、「よりのなれ」の内容を工夫する。

又、無料で掲載可能な県内ガイドブック、パンフ等に情報提供し誘客アップにつなげます。

5. 周辺地区との連携

地元の各種団体（商工会、農協、漁協）などと情報交換を密にして、各種団体主催の地域振興事業に積極的に参加協力します。

地元観光協会、旅館組合が主催する観光振興事業、地域振興事業に積極的に参加協力します。

地元自治会が主催する祭り、環境整備事業に積極的に参加、協力します。